

平成 27 年度 SPARC Japan 事業報告

(1) SPARC Japan セミナー

- ・企画WGを組織し、4回実施した。【資料 2-2-1】 【資料 2-2-2】
- ・企画終了後、ニュースレターを発行した。第 26 号 (2015 年 11 月) , 第 27 号 (2015 年 11 月) , 第 28 号 (2016 年 2 月) , 第 29 号 (2016 年 3 月)

(2) 海外動向調査

- ・COAR(Confederation of Open Access Repository) 2015 Annual meeting
(4月15-16日 Porto, Portugal) に三角太郎氏 (千葉大学) と西菌由依氏 (鹿児島大学) を派遣した。
- ・OR2015 (The 10th Annual International Conference on Open Repositories)
(6月8-11日 Indianapolis, USA) に川村拓郎氏 (広島大学) と新岡美咲氏 (筑波大学) を派遣した。
- ・SPARC Meeting on Openness in Research & Education
(3月7-8日 San Antonio, USA) にNII古川特任助教を派遣した。

(3) 国際的なイニシアティブへの参加支援

- ・2014年から開始したSCOAP³への日本の大学図書館からの拠出金を、NIIがとりまとめて支払った。また、安達委員長が年2回開催されたGoverning Councilに出席した。
- ・2015年からコンソーシアム参加になったarXiv.orgについて、日本からのボードメンバーとして引原京都大学図書館機構長が選ばれた。また、日本の大学図書館からの会費を、NIIがとりまとめて支払った。
- ・ORCIDについて、NII蔵川特任准教授が5月、NII武田教授が2月に理事会に出席し、著者識別子の普及活動にあたった。

(4) 論文公表実態調査

- ・JUSTICEと連携し、我が国における論文公表の実態調査を開始した。

(5) 平成 26 年度 SPARC Japan 年報の発行

- ・平成 26 年度の活動状況をまとめ、平成 27 年 9 月に発行した。